BUFFALO

シリアル ATA ハードディスク

HD-HBS シリーズ

ユーザーズマニュアル

はじめに 7 1

セットアップ................................ 9 2

使いかた 12 3

フォーマット 15 4

付録..24 5

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク..................... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク........... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D: CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルやデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意）が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⊘分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：● プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電、故障する恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください 。衝撃は本製品の故障の原因となります 。

禁 止

AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは 、感電の原因となります 。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります 。

禁 止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

強 制

シリアル ATA ケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。

本製品付属以外のシリアル ATA ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源を OFF にしたり、リセットしたりしないでください。

データを消失、破損する恐れがあります。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

禁止

アクセスランプが点灯 / 点滅している間は、電源スイッチを OFF にしたり、システムをリセットしたりしないでください。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

強制

電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。

本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MO ディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべて MO ディスク 、フロッピーディスク等にバックアップしてください 。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったためにデータを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界や静電気が発生するところ
・直射日光が当たるところ
・ほこりの多いところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

禁止

本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに 7

特長 7

各部の名称 8

電源の ON/OFF 8

2 セットアップ 9

セットアップのながれ 9

データ保存用のハードディスクとしてお使いになる場合 9

起動用ハードディスクとしてお使いになる場合 10

セットアップ時の注意 11

3 使いかた 12

使用上の注意 12

ハードディスクの取り外しかた 14

弊社製外付けシリアル ATA インターフェースに接続した場合 14

パソコンのシリアル ATA コネクタや
付属の外部シリアル ATA ブラケットに接続した場合 14

4 フォーマット 15

ご注意 15

フォーマットのしかた 16

WindowsXP/2000 をお使いの場合 17

DVD 作成やキャプチャを行う
（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合 19

5 付録 24

バックアップ 24

バックアップの必要性 24

バックアップ用のメディア 24

バックアップデータの復元（リストア） 24

メンテナンス 25

ハードディスクのエラーチェック（チェックディスク） 25

ハードディスクの最適化（デフラグ） 25

特定のソフトウェアが使用できない場合 25

Disk Formatter のアンインストール 25

仕様 26

1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● **7200 回転、流体軸受けのハードディスクを採用**

高速回転で流体軸受けのハードディスクを採用しています。

● **シリアル ATA 対応**

弊社製外付けシリアル ATA インターフェースに接続が可能です。また、付属の外部シリアル ATA ブラケットを使えば、パソコン内部のシリアル ATA コネクタに接続こともできます。

● **ホットプラグに対応（弊社製外付けシリアル ATA インターフェースと接続した場合のみ）**

本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

※ 本製品を起動用ハードディスクとして使用する場合や付属の外部シリアル ATA ブラケットを使用して本製品を接続した場合、ホットプラグに対応しません。本製品を取り外すときは、パソコンの電源を OFF にしてください。

※ ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。**【P14「ハードディスクの取り外しかた」】**

● **FAT32 フォーマット済み**

出荷時に論理フォーマットされていますので、そのままパソコンに接続してご使用いただけます。

● **起動用ハードディスクとして使用することが可能**

本製品に OS をインストールし、起動用ハードディスクとして使用していただくこともできます。

※ ホットプラグは非対応です。

各部の名称

● 前面

パワーランプ（緑色）
ハードディスクが動作可能なときに点灯します。

アクセスランプ（赤色）
アクセス時に点灯 / 点滅します。

● 背面

電源スイッチ

電源ケーブル

シリアル ATA コネクタ
パソコンのシリアル ATA コネクタに接続します。

フレームグランド
※別途アース線を用意し、接続してください。

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

電源の ON/OFF

本製品の電源スイッチで電源を ON/OFF してください。

省電力機能について

本製品には、省電力機能があるため、電源が ON のままでも以下のように動作します。

①パソコン本体の電源が OFF になると自動的に省電力モード（ハードディスクの回転を止め、消費する電力を抑えた状態です。パワーランプは消灯します。）になります。

②パソコン本体の電源が ON になると省電力モードが解除されます。

※ 本製品を起動ドライブとしてお使いの場合は、省電力モードになりません。

※ パソコンによっては、パソコン本体の電源を OFF にしても本製品が省電力モードにならないことがあります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作して ON/OFF を切り替えてください。

※ パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。

※ 本製品を長時間使用しない場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

メモ　詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

データ保存用のハードディスクとしてお使いになる場合

本製品の電源ケーブルを コンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチを ON にする

▼

ユーティリティ CD をパソコンにセットする

▼

簡単セットアップの指示に従って本製品をパソコンに接続する

▼

これで本製品が使用できるようになります。

※ 本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされていますので、改めてフォーマットする必要はありません。本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合のみフォーマットしてください。

2
セットアップ

起動用ハードディスクとしてお使いになる場合

■パソコンに付属のCD-ROMからOSをインストールする場合

本製品をパソコンに接続して電源をONにし、パソコンのマニュアルを参照してOSをインストールしてください。

メモ OSをインストールした後、ハードディスク内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。【P15「フォーマット」】

■ OSのCD-ROMからインストールする場合

本製品をパソコンに接続して電源をONにし、OSをインストールします。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。インストール手順はWindowsのマニュアルを参照してください。
Windowsを新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

本製品をパソコンに接続して、電源をONにする

▼

Windowsの起動ディスクからパソコンを起動する

▼

Windowsをインストールする【各OSのマニュアルを参照】

▼

パソコンを再起動する

セットアップ時の注意

● **PC98-NX シリーズを使用しているときは、CyberTrio-NX が「アドバンストモード」になっていることを確認してください。**
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・**モードの確認方法**
タスクバーに表示されている CyberTrio-NX のインジケータ の色で確認できます。

赤	**アドバンストモード**	設定を変更する必要はありません。
黄	**ベーシックモード**	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	**キッズモード／カスタムモード**	アドバンストモードに設定を変更してください。

・**「CyberTrio-NX」のモードの変更方法**
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート] − [プログラム] − [CyberTrio-NX] − [Go To アドバンストモード] の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート] − [プログラム] − [CyberTrio-NX] − [CyberTrio-NX セットアップ] の順に選択します。
③ [CyberTrio-NX のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード] を選択して [OK] をクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● **Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

● **本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。**

● **本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。**

2
セットアップ

3 使いかた

使用上の注意について説明しています。

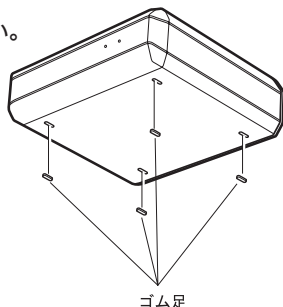
使用上の注意

⚠注意 **・本製品に仮想メモリを割り当てないでください（本製品に OS をインストールした場合を除く）。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にシリアル ATA ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

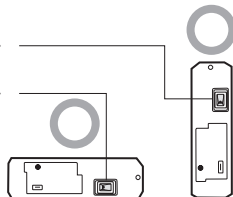
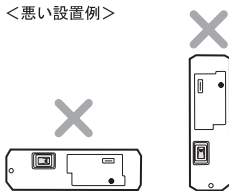
●本製品はホットプラグに対応しています（弊社製外付けシリアル ATA インターフェースに接続した場合のみ）。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも、ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P14「ハードディスクの取り外しかた」】

⚠注意 **ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯 / 点滅しているとき）や本製品を起動用ドライブとしてお使いのときは、絶対にケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4 個）を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。
⚠注意 **・右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
・本製品を積み重ねないでください。

ゴム足

● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。

＜良い設置例＞
電源スイッチを上にします。
電源スイッチを右にします。

＜悪い設置例＞

⚠注意 **動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。**

本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、本製品が省電力モードのときは、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

・本製品を積み重ねないでください。
・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせないでください。

● 本製品に保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。NTFS 形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● ハードディスクの動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

ハードディスクの取り外しかた

本製品の接続方法によって取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。

本製品を起動用ハードディスクとしてお使いの場合（OS をインストールした場合）は、本製品を取り外さないでください。
本製品に OS をインストールした場合、本製品を取り外すとパソコンが起動しません。また、再度接続したときもパソコンが起動しない恐れがあります。

⚠注意 **・必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
・本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。
・以下の説明では、WindowsXP の画面を使用しています。

メモ **パソコンの電源スイッチが OFF のときには、そのまま取り外せます。**

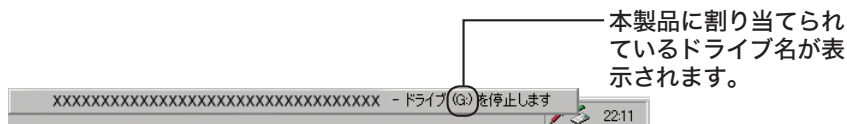
弊社製外付けシリアル ATA インターフェースに接続した場合

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WIndowsXP)、(Windows2000) をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[ユニットドライブ名 - ドライブ (X:) を停止します] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。ユニットドライブ名はお使いの製品によって異なります。
WindowsXP の場合は、メッセージが少し異なります。

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX - ドライブ (G:) を停止します 22:11

3 **「取り外すことができます。」と表示されたら [OK] をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ WindowsXP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません (表示は自動的に消えます)。

パソコンのシリアル ATA コネクタや付属の外部シリアル ATA ブラケットに接続した場合

⚠注意 **パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。**

1 **Windows を終了し、パソコンの電源を OFF にします。**

2 **本製品を取り外します。**

次のページへ続く

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

● **本製品は出荷時に FAT32 形式 (1 パーティション) でフォーマットされています。通常はそのままの状態でご使用いただけます。**
本製品を複数の領域に分けてお使いになる場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

次のページへ続く

フォーマットのしかた

WindowsXP/2000 をお使いの場合、2 種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

● **キャプチャを使っている**
キャプチャボードなどでテレビやビデオの映像を録画したデータを本製品に保存する場合。

● **DVD を作ることがある**
本製品を取り付けたパソコンでDVD-Video やデータディスク(DVD) を作成する場合。

● **容量が 4GB 以上のファイルを保存したい**
1 ファイルが 4GB 以上の容量を持つファイルを本製品に保存したい場合。

● **NTFS 形式でフォーマットしたい**
本製品を NTFS 形式でフォーマットしたい場合。

→

「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルの容量が 4GB を超える可能性がある）場合」【P19】

1 ファイルが 4GB を超えるファイルを保存することができます。
本製品をNTFS形式でフォーマットします。

● **簡単にフォーマットしたい**
簡単にフォーマットしたい場合。ただし、1 ファイルの容量が 4GB 以上のファイルは保存できません。

● **FAT32 または FAT16 形式でフォーマットしたい**
本製品を FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしたい場合。

→

「WindowsXP/2000 をお使いの場合」【P17】

簡単にフォーマットすることができます。
本製品を FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットします。

⚠注意 **1 ファイルが 4GB 以上のファイルを保存できません。**

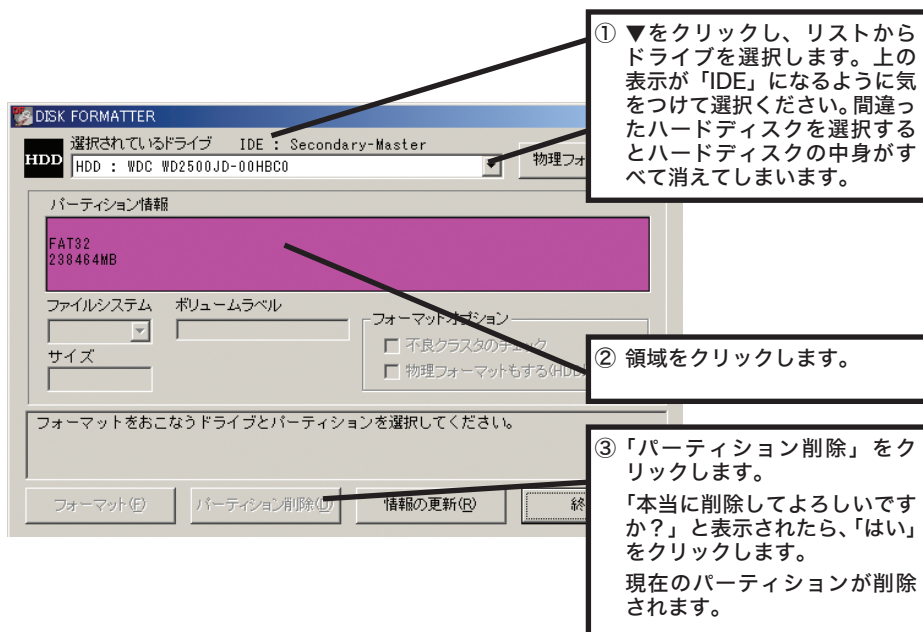
WindowsXP/2000 をお使いの場合

⚠注意 FAT32 形式でフォーマットした場合、1 ファイルの最大容量は 4GB となります。【P19「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合」の方法でフォーマットすれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できます。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。
フォーマットにはDISK FORMATTERを使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

■ DISK FORMATTER をインストールする

1 パソコンにユーティリティ CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。

2 「DISK FORMATTER のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

■フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatter を起動します。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く

DISK FORMATTER
選択されているドライブ　IDE : Secondary-Master
HDD : WDC WD2500JD-00HBC0
物理フォ
パーティション情報
空領域
238464MB
ファイルシステム　ボリュームラベル
フォーマットオプション
サイズ
フォーマットをおこなうドラ
フォーマット(F)　パーティション削除(D)　情報の更新(R)　終

⚠ ご注意

「物理フォーマット」※はクリックしないでください。完了するまでに長時間 (USB 接続のハードディスクの場合で 20GB あたり約 7 時間) かかります。

※物理フォーマット完了後、論理フォーマットを行う必要があります。

④「空領域」と表示されているエリアをクリックしてください。

⑤「ファイルシステム」の▼をクリックしてご使用になる設定を選択してください。フォーマットしたい「サイズ」の値を入力してください。

⑥「フォーマット」をクリックしてください。フォーマットが始まります。

⚠注意 **・フォーマットするドライブを間違えないでください。**
・FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。

メモ ・2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム] に [FAT32]を選択してください。[FAT16]では、1 つの領域は最大2047MBとなります。

・Disk Formatter に関する詳細は、付属のユーティリティ CD に収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」(diskformatter.pdf ファイル)を参照してください。

DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合

ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

⚠注意 **・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。

・以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。

1 WindowsXP/2000 を起動し、コンピュータの管理者権限があるユーザーでログオンします。

2 デスクトップにある［マイコンピュータ］を右クリックします。

WindowsXP の場合

［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックします。

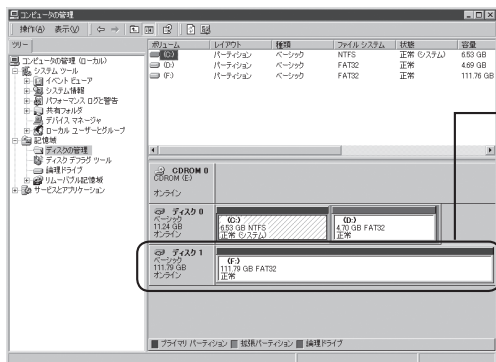
3 メニューが表示されたら［管理］をクリックします。

4

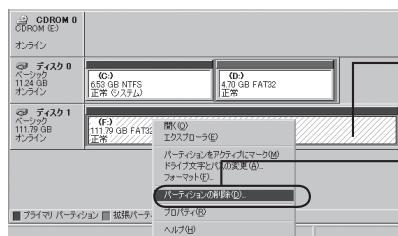
［ディスクの管理］をクリックします。

次のページへ続く

4 フォーマット

5

本製品に割り当てられているドライブを確認します。

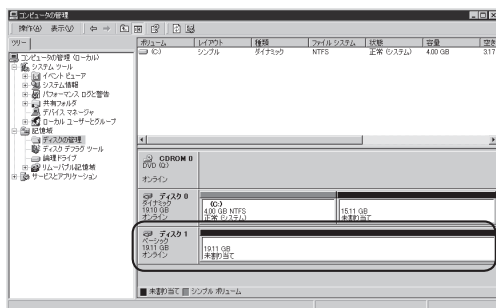
※ドライブを間違えると、ハードディスクの中身がすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

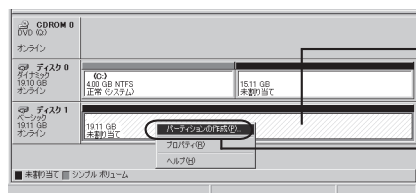
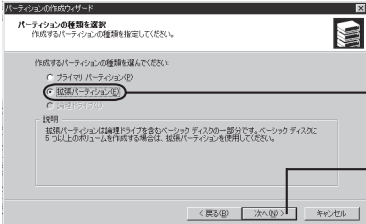
6

① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

② [パーティションの削除] をクリックします。

7 **「パーティションを削除しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。**

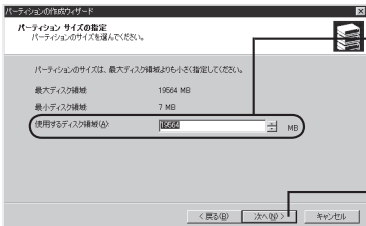
パーティションが削除されます。

8

未割り当て領域が表示されます。

9

① 未割り当て領域を右クリックします。

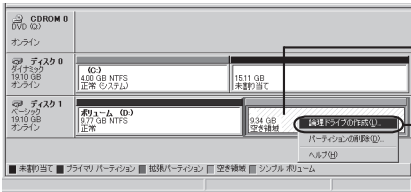
② [パーティションの作成] (WindowsXP の場合は [新しいパーティション]) をクリックします。

次のページへ続く

10 **[パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの開始])と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

11

① [拡張パーティション] をクリックして(・)を付けます。

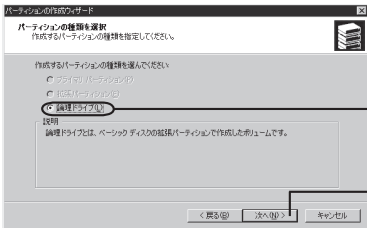
② [次へ] をクリックします。

12

① [使用するディスク領域] でサイズを指定します (WindowsXP の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② [次へ] をクリックします。

13 **[パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]) と表示されたら、[完了] をクリックします。**

14

① 空き領域を右クリックします。

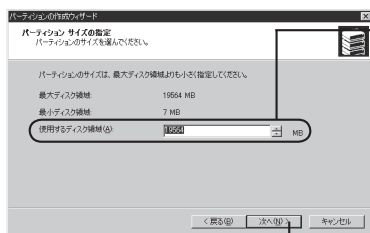
② [論理ドライブの作成](WindowsXP の場合は [新しい論理ドライブ]) をクリックします。

15 **[パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの開始]) と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

16

① [論理ドライブ] が選択されていることを確認します。

② [次へ] をクリックします。

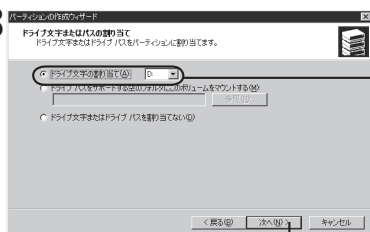
次のページへ続く

4 フォーマット

17

① [使用するディスク領域] でサイズを指定します (WindowsXP の場合は [パーティション　サイズ] でサイズを指定します)。

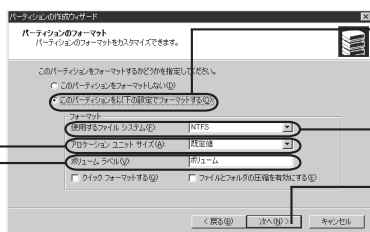
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② [次へ] をクリックします。

18

① [ドライブ文字の割り当て](WindowsXP の場合は [次のドライブ文字を割り当てる]) をクリックし、ドライブ文字を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② [次へ] をクリックします。

19 フォーマット形式などを設定します。

① [このパーティションを以下の設定でフォーマットする] をクリックし、(•) を付けます。

② [NTFS] を選択します。

③ 各項目を設定したら、[次へ] をクリックします。

必要に応じて [ボリュームラベル] を入力します。

[アロケーションユニットサイズ] は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

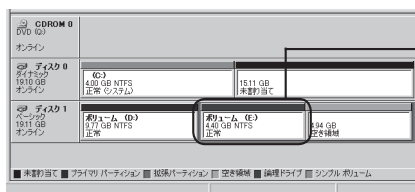
⚠注意 本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、[クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けないでください。チェックマーク (✓) を付けると、フォーマットが正常に終了しません。

20 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]) と表示されたら、[完了] をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の [フォーマットの中止] をクリックします。

次のページへ続く

21

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK] をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ] をクリックします。

⚠注意 ［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 **17** でサイズを指定し、以下手順 **21** までを作成する数だけ繰り返します。

4 フォーマット

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップは、付属ソフト「True Image LE」で作成することができます。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・フロッピーディスク　・光磁気ディスク（MO）　・ネットワーク（LAN）サーバ
・増設ハードディスク　・CD-R/RW　・DVD-RAM　・DVD-R/RW　・DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMO など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（チェックディスク）

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ ・エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化(デフラグメンテーション)といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ ・最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は､パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか､他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

Disk Formatter のアンインストール

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは､以下を参照してアンインストールしてください。

1 ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［アンインストーラ］の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上で Disk Formatter のアンインストールは完了です。

5 付録

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

<table>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td>SerialATA Specification Revision 1.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td>外部 SerialATA</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大転送速度</td><td>1.5Gbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">出荷時フォーマット形式</td><td>FAT32(1 パーティション)</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大消費電力</td><td>25W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td>5 ～ 35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>20 ～ 80%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応 OS</td><td>WindowsXP（Media Center Editionを含む）Service Pack1 以上、
Windows2000 Service Pack3 以上</td></tr>
</table>

※弊社製外付けシリアル ATA インターフェースに接続した場合にのみホットプラグに対応します（本製品を起動用ハードディスクとしてお使いの場合を除く）。パソコンのシリアル ATA コネクタや付属の外部シリアル ATA ブラケットを使用している場合は、ホットプラグに対応していません。